

# 運輸安全マネジメント取組み結果の評価

第55期（2017年4月1日～2018年3月31日）

## 1、概要

年間を通じ、人身事故を含む重大事故の発生は無かったが、公道上において自損・物損などの接触事故は目標に対して未達となっており、総体的には「不十分」という結果であった。

今後も事故撲滅に向け、運転技術の向上は勿論のこと、プロドライバーとしての自覚を研鑽する社内ムード作り、外部研修会への参加等全員への徹底を地道に進めることが継続課題である。

また、乗務職の平均年齢上昇に伴い、今期は脳梗塞などによる乗務中意識喪失予防の脳ドックを優先項目として未受診者全員に実施（14名実施）したため、入社3年以内の乗務職全員を対象とする宿泊研修への参加が満たされなかった。後方事故防止を目的としたサイドソナーを装着についても、2台へ試験的に装着したものの誤作動など不具合が発生し、目標台数に満たなかった。

## 2、実績数値

### (1) 交通事故の減少

| 項目    | 目標 | 実績 |
|-------|----|----|
| ①人身事故 | 0件 | 0件 |
| ②物損事故 | 0件 | 3件 |
| ③自損事故 | 1件 | 5件 |

### (2) 輸送の安全に対する投資

| No | 項目                     | 目標  | 実績         |
|----|------------------------|-----|------------|
| 1  | 乗務職の宿泊研修への参加           | 14名 | 7名(189千円)  |
| 2  | 後方事故防止のため、サイドソナーを装着    | 5台  | 2台(150千円)  |
| 3  | 乗務中の意識喪失予防に脳ドックの実施     | 14名 | 14名(294千円) |
| 4  | 安全運転につながる省燃費運転の個人指導    | 毎月  | 毎月         |
| 5  | 悪質違反の防止に関する研修の実施       | 年2回 | 年2回        |
| 6  | 全運転者の「運転記録証明書」の取り寄せ    | 年1回 | 年1回        |
| 7  | 安全指導（12項目）の実施          | 年6回 | 年6回        |
| 8  | 乗務職及び指導者・管理者へのKYT研修の実施 | 年3回 | 年3回        |
| 9  | 運転技術向上を目的とした外部研修会への参加  | 年2回 | 年2回        |

### (3) 事故に関する統計（自動車事故報告規則第2条に規定される事故）

|        |      |      |
|--------|------|------|
|        | (目標) | (実績) |
| 2017年度 | 0件   | 0件   |

2018年4月1日  
山梨総合運輸株式会社  
代表取締役 樋口恵一